

業務SEのためのIoTの基礎知識【会場・オンライン同時開催】（4122213）

DX時代と言われる今日、情報システムの担当者にとって、IoTは避けて通れない要素技術になってきました。SEの視野を広げ、従来の解決策からIoTも取り入れた解決策を着想していただき、より有効な情報システムを目指していただきます。IoTという次元を1つ増やすことによる、より最適なシステムの実現が可能になると考えています。本セミナーはIoTの初学者を対象に、IoTのハード・ソフトの基礎知識からデータの蓄積・受信・処理、開発の方法論まで総合的に学んでまいります。

開催日時	2022年11月28日(月) 10:00-17:00
カテゴリー	IS導入（構築）・IS保守 専門スキル
DXリテラシー	What(DXで活用されるデータ・技術)：デジタル技術 How(データ・技術の活用)：活用方法・事例
講師	宮西洋太郎 氏 (株式会社アイエスイーエム 代表取締役 工学博士) 三菱電機株式会社にて工業分野の計算機制御システムのSE業務に従事。 水系制御分野、化学工業分野、鉄道分野、電力系統分野などを経験。 業務経験をもとに公立はこだて未来大学、宮城大学で後進の育成にあたり、現在に至る。 IoTシステムのコンサルティングを行っている。 情報処理学会と計測制御学会の終身会員
参加費	J U A S 会員/ITC：33,800円 一般：43,000円（1名様あたり 消費税込み、テキスト込み）【受講権利枚数1枚】
会場	一般社団法人日本情報システム・ユーザー協会（日本橋堀留町2丁目ビル2階）
対象	今までIoTに関わっていなかった業務情報システムのSE 初級
開催形式	講義
定員	25名
取得ポイント	※ITC実践力ポイント対象のセミナーです。（2時間1ポイント）
特記	・お申込み後マイページより受講票をダウンロードして内容をご確認ください。 ・オンラインにてご参加の方も、演習や質疑応答でマイクを利用することがあります。ご発言いただける環境にてご参加ください。
ITCA認定番号	ITCC-CPJU9582
ITCA認定時間	6

主な内容

■受講形態

【選べる受講形態】

- A. 会場にてご参加：【Co-lab-po（2階会議室）施設利用にあたっての取り組み】
B. オンラインにてご参加：【セミナーのオンライン受講について】

■テキスト

- A. 会場にてご参加：当日配布
B. オンラインにてご参加：開催7日前を目途に発送（お申込時に送付先の入力をお願いします）

※開催7日前から開催前日までにお申込の場合、テキストの送付は開催後になることがあります。ご了承ください。

■開催日までの課題事項

特になし

DX時代と言われる今日、情報システムの担当者にとって、IoTは避けて通れない要素技術になってきました。SEの視野を広げ、従来の解決策からIoTも取り入れた解決策を着想していただき、より有効な情報システムを目指していただきます。IoTという次元を1つ増やすことによる、より最適なシステムの実現が可能になると考えています。本セミナーはIoTの初学者を対象に、IoTのハード・ソフトの基礎知識からデータの蓄積・受信・処理、開発の方法論まで総合的に学んでまいります。

■主な内容・プログラム

第1部 IoTの本質を体験する-身近な例より

第2部 IoTの基礎を理解する

- 1 概要と研修の目的
- 2 IoTを構成するハードウェアとソフトウェア
- 3 IoTシステムの全体像とネットワーク構成
- 4 IoTに関する従来の仕事のプロセスとIoTを用いる仕事のプロセス
- 5 SEとしての業務範囲の拡大と生き方改革
- 6 センサーについての基礎知識－感知する原理
- 7 データの集め方
- 8 データの受信
- 9 データの処理
- 10 データの送信－スマホに送る
- 11 データの蓄積方法
- 12 データの分析

第3部 IoTシステムの事例研究

- 事例1 工場の例
- 事例2 ハウス農業の例
- 事例3 店舗の例
- 事例4 病院、老人ホームの例

第4部 IoTシステムの構築方法論

- 1 IoTシステムの開発手順
- 2 IoTシステムにおける要件定義
- 3 IoTシステムにおけるテスト
- 4 IoTシステムの受け入れ検証
- 5 IoTシステムのプロジェクトチームーどのような人を集めるか
- 6 IoTシステムの費用見積もり－イニシャルコスト、ランニングコスト

第5部 次に何をしたらよいか、何を学習したらよいか